

An aerial photograph of a densely populated city, likely Matsuyama, Japan, with a clear blue sky and green mountains in the background. The city is filled with various buildings, including residential houses and commercial structures.

ビジョン2030 中期経営計画 2025-2027

いつもの暮らしを、いちばんに。



四国ガスグループ



1. 四国ガスグループビジョン 2030	P 3
2. ファーストステップ(中期経営計画 2022-2024)	P 4
3. セカンドステップ(中期経営計画 2025-2027)	P 6
セカンドステップの位置づけ	P 7
4. 3つのチャレンジと環境認識	P 8
チャレンジ ① 脱炭素社会への貢献	P 9
チャレンジ ② ステークホルダーとの価値共創	P 13
チャレンジ ③ グループ経営基盤の強化	P 17
5. 達成指標	P 18

A photograph of three children running away from the camera through a lush green field filled with yellow dandelions. The child on the left is a girl wearing a light-colored straw hat, a white lace-trimmed short-sleeved shirt, and checkered shorts. The child in the middle is a boy wearing a striped t-shirt and green shorts. The child on the right is a girl wearing a pink hat with a bow, a white lace-trimmed long-sleeved shirt, and blue jeans. In the background, there is a line of tall, leafy green trees under a bright sky.

私たち、四国ガスグループが目指すのは、

四国の暮らしを守り、お客さまの笑顔とともに、
地域とともに成長していくこと。

そのために、今、私たちは新たな挑戦を始める。



私たちが目指す2030年のありたい姿

あなたとともに、新しいワクワクを。

いつもの暮らしを支える、
これからも頼れる存在でありたい。



四国ガスグループの目指すべき姿

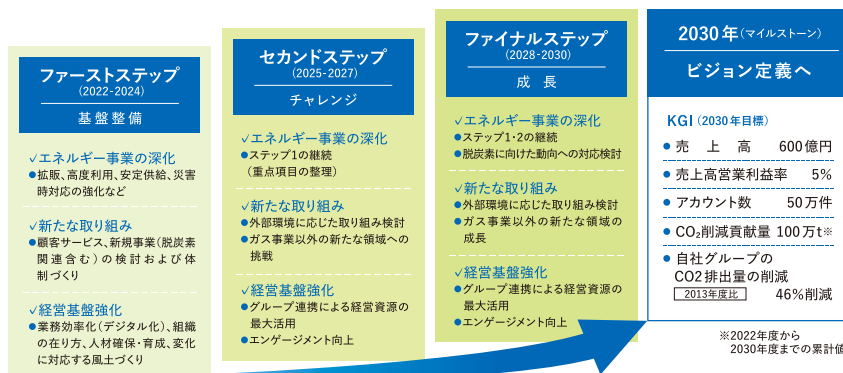
「あなたとともに、新しいワクワクを。」

〈四国ガスグループの実現したい未来の姿〉

- 四国のお客さま、地域とともに成長、発展し続けたい！
- 頼られる存在であり、事業を通じて新しい価値（喜びなど）を提供したい！
- 新しい時代に向けて使命感を変化させ、モチベーションを高めたい！

〈ビジョン2030と中期経営計画位置づけ〉

環境変化に対応し、時代のニーズに応えられるよう、2030年までの9年間で「3年×3ステップ」で「中期経営計画」を策定し、2030年目標を目指します。



目指すべき姿に向けた5つの基本方針

MISSION 1

エネルギー事業をさらに発展させるために

ガス事業に重点をおき、より多くのお客さまに安定して届ける。また、非常時や自然災害を想定し、防災対策(レジリエンス)を強化していく。



MISSION 2

人・社会・環境へ、持続可能な価値を生み出すために

現状に満足することなく、新たなサービスを提供していくことで、お客さまのアカウントの拡大、さらには、自治体や地元企業との連携を強めていく。



MISSION 3

脱炭素社会の実現のために

CO₂排出削減に貢献するために、再生可能エネルギーや水素、メタネーションなど、新技術への対応、技術革新にチャレンジしていく。



MISSION 4

新しい四国ガスグループの創造のために

より地域や社会に貢献していくことを目指し、既存の事業やビジネスモデル、働き方を見直し、新規事業や新たなサービスを生み出す環境を創っていく。



MISSION 5

誰もが働きやすい 四国ガスグループになるために

社員誰もが働きやすく、グループ全体の生産性が向上するような職場環境を目指し、コンプライアンス意識の強化や、人材育成も充実させていく。





ファーストステップ(中期経営企画2022-2024)

中期経営企画2022-2024では、脱炭素やDXなど取り巻く環境が大きく変化するなかで、新たな視点で変革を推進し、事業拡大に向けた基盤整備を着実に進めてきました。

エネルギー事業の深化

- 省エネ機器の普及拡大、天然ガスシフトによる低炭素の推進
- 自社事業向けにオフセットLNGを導入
- 安定供給に向けたBCP強化
- 再生可能エネルギーの拡大
- ガスのカーボンニュートラルに向けたe-メタンなどの可能性調査

地域活性化に向けた主な取り組み

- サービス拡大を通じたお客さまとの接点強化
- 自治体との連携強化および地域課題解決に向けた取り組みの推進
- SDGs貢献に向けた社内活動「ガステナブル活動」の推進
- 総合学習や環境教育など出前授業の実施

経営基盤の強化

DX人材の育成とデジタル技術の活用促進

業務効率化の推進と働きやすい職場環境の整備

グループ内の連携強化によるシナジー創出



コージェネレーションシステムの導入



バンカリング船の活用(BCP強化)



松山市との連携協定式



出前授業



私たち四国ガスグループは
頼られる存在であり続けるために、
次なるステージへ



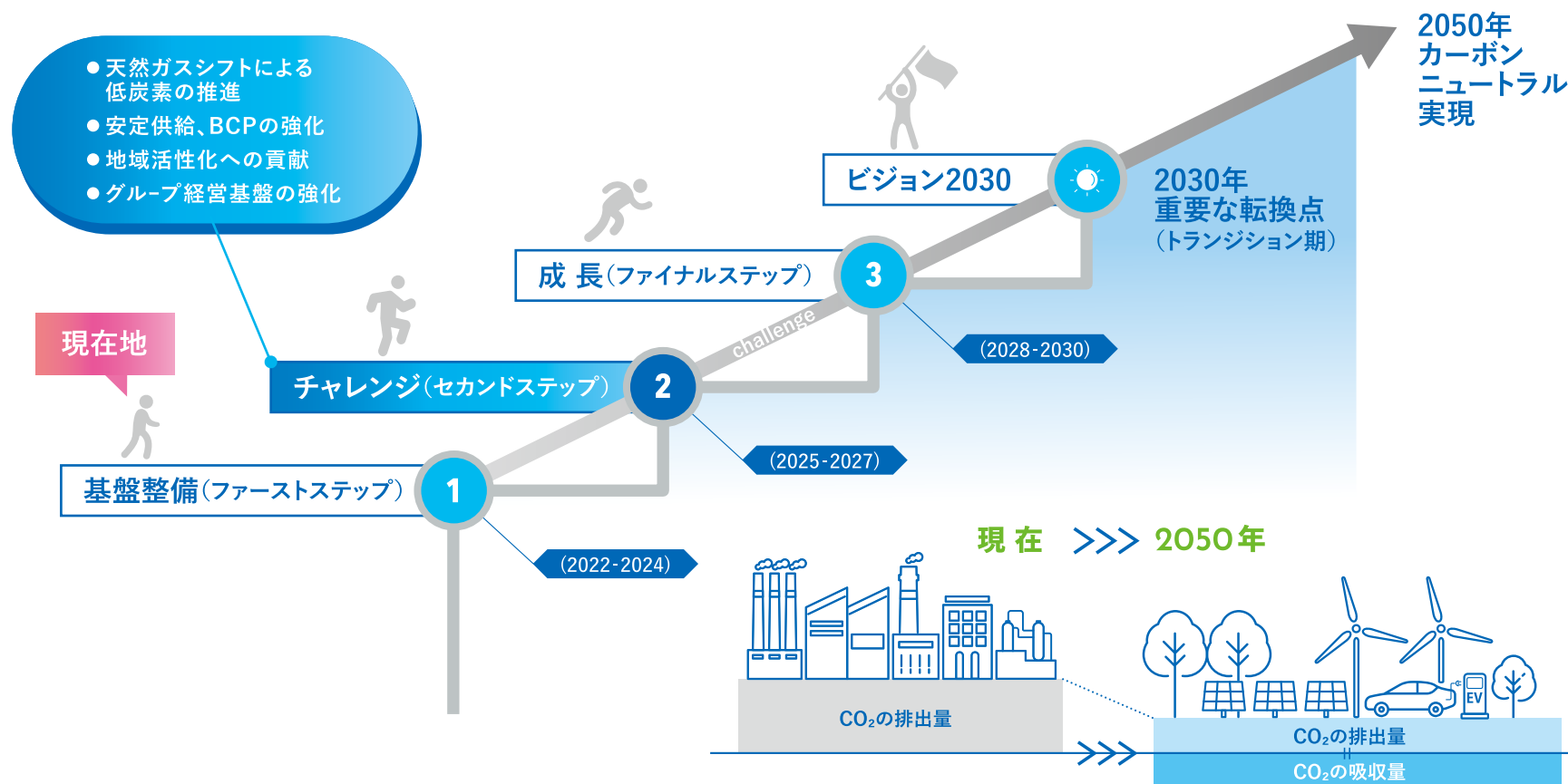
セカンドステップ

(中期経営計画 2025-2027)



セカンドステップ(中期経営企画 2025-2027)

- ◎2050年カーボンニュートラルの実現に向け、2030年は大きな転換点となる。
- ◎セカンドステップ(中期経営企画 2025-2027)の3年間では、エネルギー事業をさらに深化させ、安定供給の確保および競争力強化を図るとともに、事業領域を拡大し、地域の多様なニーズや課題解決に積極的に「挑戦」する期間と位置づける。



「あなたとともに、新しいワクワクを。」

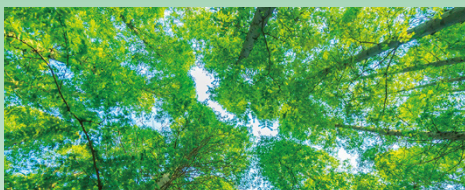


中期経営計画 2025-2027(セカンドステップ)の重点戦略「3つの挑戦」

2030年の目指す姿を実現するため、セカンドステップでは、環境変化にも柔軟に対応し、3つの挑戦として『脱炭素社会への貢献』、『ステークホルダーとの価値共創』、『グループ経営基盤の強化』を重点戦略に掲げ推進します。

CHALLENGE ①

脱炭素社会への貢献



天然ガスシフトや再生可能エネルギーの活用による低炭素化を推進し、2050年のカーボンニュートラルの実現を目指します。また、そのために必要不可欠な低炭素化を実現するための技術やサービスを提供します。

CHALLENGE ③

グループ経営基盤の強化



変化に対応できる企業グループを目指し、DXによる生産性の向上と効率的な運営体制を構築するとともに、人的資本経営により、企業価値を高めます。

CHALLENGE ②

ステークホルダーとの価値共創



多様なニーズに対応したサービスの拡充を進め、新たな価値を創出していきます。地域社会とのパートナーシップを強化し、価値を共創することで地域の発展に貢献します。

環境変化

エネルギー市場の変化

- 自由化や選択肢の多様化による競争激化
- 地政学的リスクによるエネルギー調達コストの変動
- サステナビリティに対する社会意識の高まり
- 地域課題解決による地域活性化の推進

脱炭素化への加速

- 記録的な猛暑や局所的な大雨など自然災害の頻発化および激甚化
- GX(グリーントランスフォーメーション)政策の進展
- 次世代エネルギーの活用拡大(水素、CCUSなど)

デジタル技術の進化

- DXによるビジネスモデルの変化
- 生成AIなど技術革新の加速化
- デジタル技術の普及やデータ活用の進展

「あなたとともに、新しいワクワクを。」



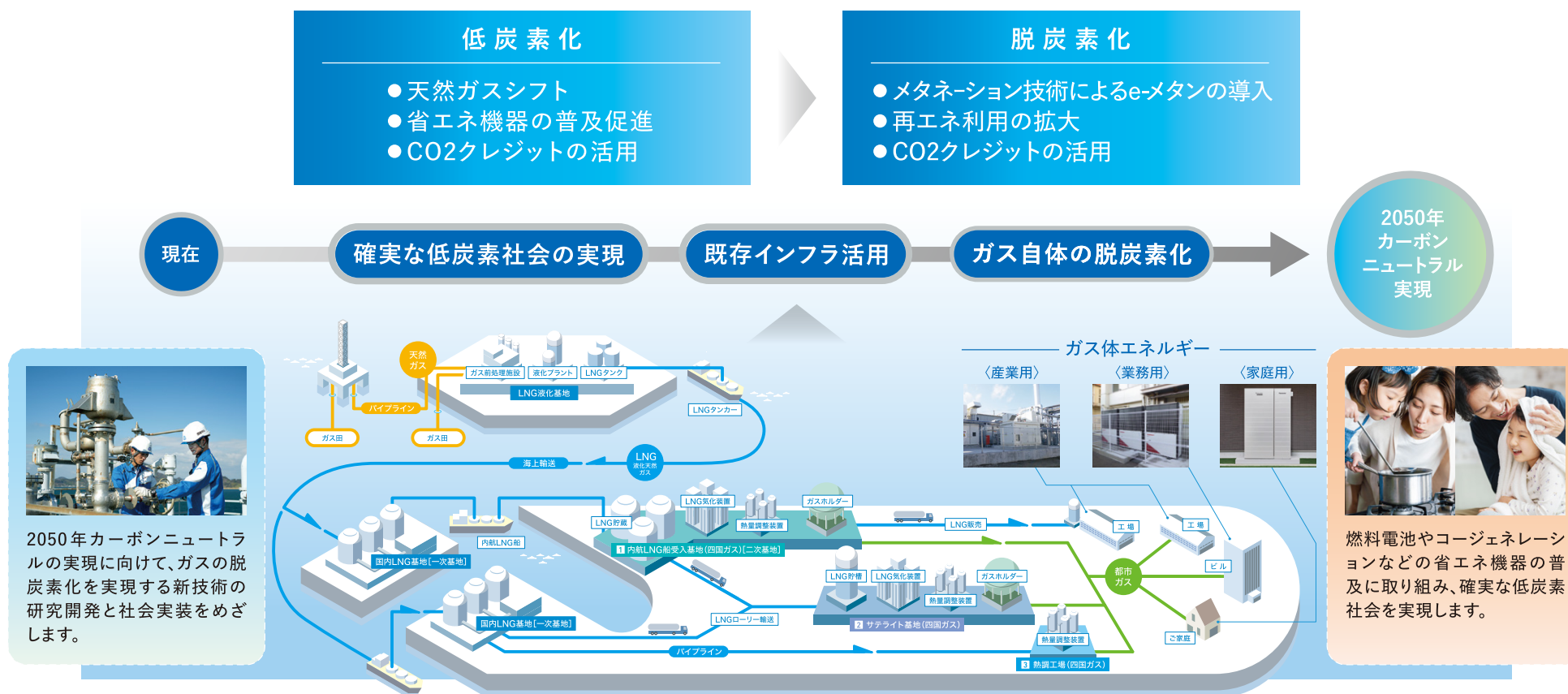
CHALLENGE 1 脱炭素社会への貢献

VISION 2030

中期経営計画 2025-2027

四国ガスグループは、天然ガスシフトや燃料電池やコージェネレーションなどの省エネ機器の普及に取り組み、低炭素社会に貢献してきました。今後も「低・脱炭素化」への取り組みを加速させ、地域とともに2050年カーボンニュートラルの実現に挑戦していきます。

脱炭素社会の実現に向けては、イノベーションの進展や社会情勢などを見極めながら、多様なエネルギーを柔軟に選択することが求められます。また、革新的な技術開発が必要であり、多大な時間とコストが必要となります。そのため、既存インフラの活用など社会コストの低減など「シームレスな転換」を目指します。



「あなたとともに、新しいワクワクを。」



CHALLENGE 1 脱炭素社会への貢献

01. ガス事業の深化

ガス事業は当社グループの根幹であり、四国地域 No.1 のガス体エネルギー供給事業者として、これまでと変わらず「お客さまの快適な暮らしを支える」ため、確実な低炭素社会の実現に貢献します。また、多様化するお客さまニーズに対応し、低炭素社会を実現するため、省エネや CO2 削減などの付加価値提案を積極的に行います。



【家庭用】

エネファームなどの高効率ガス機器の普及を推進します。



【業務用】

空調、ボイラ、厨房、コージェネを中心とした省 CO2 システムを推進します。



【産業用】

燃料転換、高度利用および LNG 販売の高付加価値化を推進します。

《2027 年度末までに達成する主な指標(KPI)》

- 都市ガス販売量 3.02 億 m³
- LNG 販売量 9.3 万トン
- LPG 販売量 8.1 万トン
- エネファーム販売台数 1,500 台(3 ヶ年累計値)

「あなたとともに、新しいワクワクを。」



02. CO2削減の取り組み

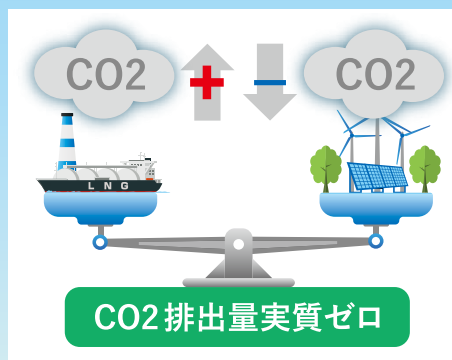
世界規模でのCO₂削減に対応するため、自社グループでのエネルギーの使用量の削減や再生可能エネルギーの利用拡大だけでなく、事業全体(サプライチェーン)でのCO₂排出量を把握し、カテゴリー別の削減についても検討を行います。

再生可能エネルギーの利用拡大



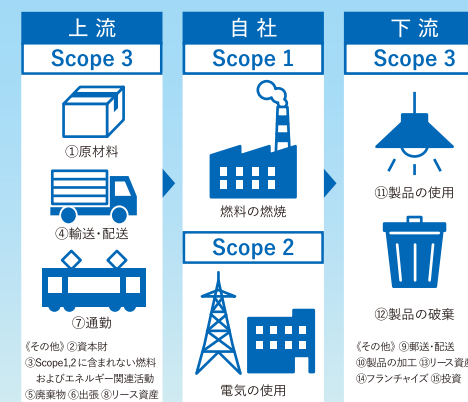
太陽光を中心に再エネ電源の開発を進め、事業活動での活用を拡大することで、CO₂削減を図ります

カーボンオフセット都市ガス LNGの提供



お客さまニーズに応じたCO₂クレジットを活用して、カーボンオフセット都市ガス/LNGを提供することで、脱炭素社会の実現に貢献します。

サプライチェーン排出量の削減



原材料の調達から製造、物流、販売、廃棄までに発生する温室効果ガス排出量を把握し、カテゴリーごとに削減を進めます。

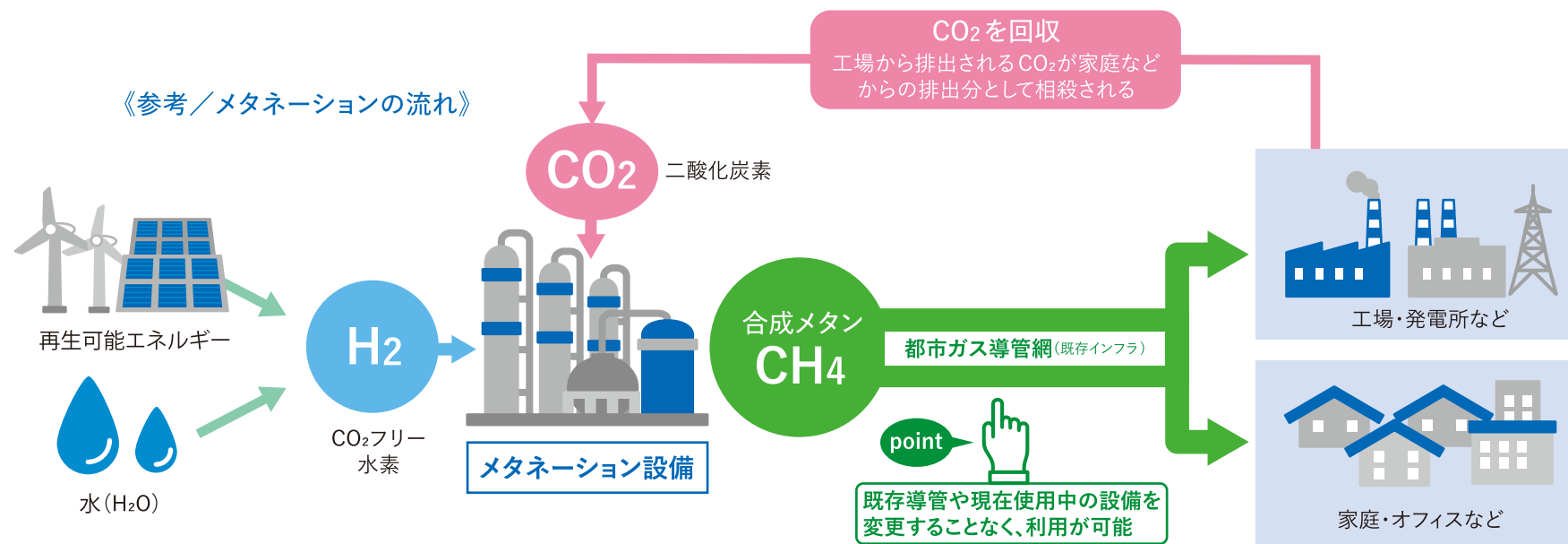
《2027年度末までに達成する主な指標(KPI)》

- 事業活動に伴うCO₂排出量 31%削減
- CO₂排出削減貢献量 50万t-CO₂(6ヵ年累計値)
- Jクレジットの創出 2万t-CO₂(3ヵ年累計値)



03. 脱炭素のカギとなる“e-メタン”

ガス体エネルギーの普及拡大による低炭素化への貢献を継続しつつ、水素、メタネーションなどのガス自体の脱炭素化技術に関する情報収集を行い、既存インフラの活用や制度面、コスト面、安全面の動向を踏まえた脱炭素化に向けた検討を行います。



STEP 1

再生可能エネルギーを利用して設備を稼働し、水(H₂O)を電気分解して、水素(H₂)を作ります。

STEP 2

水素(H₂)と二酸化炭素(CO₂)を合成し、メタン(CH₄)を作ります。これをメタネーションと言います。

STEP 3

合成したメタン(CH₄)は、都市ガス導管などの既存インフラを活用し、家庭やオフィス、工場などに供給します。

STEP 4

工場から排出された二酸化炭素(CO₂)を回収し、メタン(CH₄)の原料として再利用します。

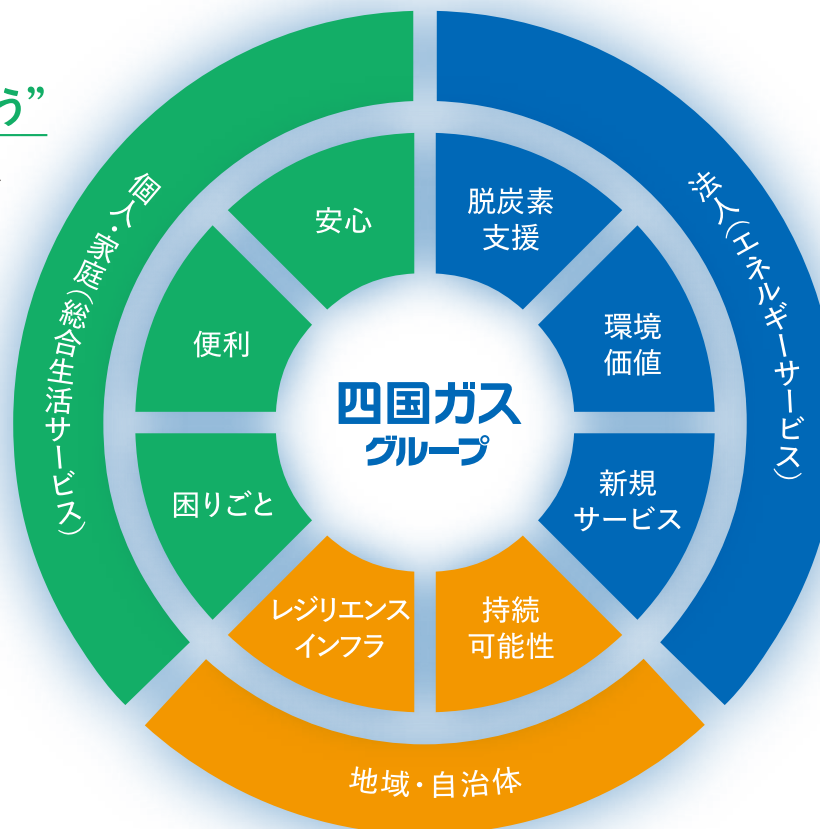


CHALLENGE ② ステークホルダーとの価値共創

様々なステークホルダーとの接点機会を活かし、共創を通じて新たな価値を創出モノ・コトで課題解決し、地域社会を支える四国ガスグループを目指します。

“お客さまの暮らしに寄り添う”

- ① 新たなサービスの拡充キャッシュレス決済や非ガス機器の販売
- ② お客さまアカウント数の拡大
- ③ 新たな顧客管理システムの構築
- ④ お客さま満足度の向上



“共創するパートナーへ”

- ① 脱炭素支援
 - エネルギー診断を通じたシステム提案
 - CO2クレジットの創出
- ② 事業領域の拡大
 - 既存事業とのシナジー効果
 - SDGsなどサステナビリティの推進
 - 再エネ電源の活用
- ③ 新たな事業を生み出す社内体制を構築



“地域とともに”

地域に密着した強みを活かし、地域課題解決に貢献 ① 地域との連携強化 ② 安全、安心、安定供給の確保

「あなたとともに、新しいワクワクを。」



01. 新たなサービスの拡充および事業領域の拡大

暮らしに寄り添う四国ガスグループであり続けるため、お客さまのお困りごとを解決し、
安心して便利なサービスの拡充を進めます。また、自社の強みを活かし、事業領域の拡大と成長を目指します。

総合生活サービスの拡充

当社グループの強みを活かした
新たなサービスを提供すること
で、お客さまとの接点の広げ、よ
り多くのお客さまに新しい価値を
お届けします。



「ガスも電気も、住まいや
暮らしも、四国ガスグループ!」に
まとめておまかせ!

**安心を
サポート!!**
都市ガスからプロパンガ
スまで、ガスのことなら
何でもご相談ください。

**お得を
サポート!!**
お得な料金プランをご
用意。エネルギーを賢く、
お得に使ってください。

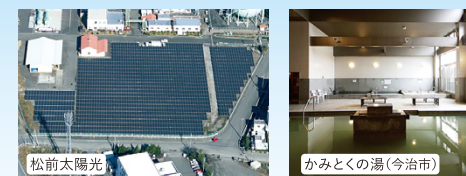
**うるおいを
サポート!!**
おいしい水をご自宅
までお届けします。

**安全を
サポート!!**
24時間365日の保安体
制。緊急体制もおまかせ
ください。

**ポイント
サポート!!**
四国ガスグループをご利
用いただくと、ポイントが
たまるのでお得です。

**暮らしを
サポート!!**
水まわりなど、お住まい
や暮らしのお困りごとを
何でもご相談ください。

新領域での事業拡大



事業基盤をより一層強化するため、既存事業
とのシナジー効果や脱炭素やSDGsなど持続
可能な社会の実現に貢献できる事業を中心に、
M&Aや投資を含めて積極的に取り組みます。

- ①CO2クレジットの創出支援
- ②エネルギー診断による脱炭素支援など
サービスメニューや商材の拡充
- ③事業領域の拡大
- ④再エネ電源の活用(PPA、蓄電池、FIPなど)
- ⑤新たな事業を生み出す体制づくり

《2027年度末までに達成する主な指標(KPI)》 ●お客さまアカウント数 46.0万件 ●売上高 573億円(内、機器販売21.5億円)

「あなたとともに、新しいワクワクを。」



02. SDGs達成への貢献

自治体・地元企業との共創を通じて、地域の課題解決に積極的に関わり、持続可能なまちづくりに貢献します。

地域との連携強化

地域に根差した企業として、自治体や地元企業との連携を深め、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に進めます。



松山市
(脱炭素社会の実現に
向けた連携協定式)



今治市
(アクセルトレーニング)
共同記者会見



環境学習



工場見学

地域共生への取り組み

一人ひとりの意識を高め、地域課題の解決につながる取り組みを推進し、より良い地域社会の実現に貢献します。



スポーツイベントの開催



ガステナブル活動
(環境/社会貢献活動)



SDGs推進企業登録証

SDGs達成に貢献できるよう、四国各県のSDGs推進企業に登録しています。
企業価値の向上と地域におけるSDGsの普及を目指します。



03. 安全・安心の取り組み強化

自然災害が頻発化、激甚化が進んでおり、インフラの強靱化によるエネルギーの安定供給の確保が求められています。
お客さまの安全、安心を確保するため、さらなる保安対策の推進と災害時の対応力の強化に取り組めます。

レジリエンス、インフラ強化

安定的にお客さまに供給できる基盤の強化を図ります。

- ①事業所ごとのバックアップ電源の確保
- ②耐震化率および耐震性に優れ、腐食しないポリエチレン管(PE管)の普及率の向上
- ③24時間、365日の保安体制により、不測の事態に備え、安全を見守ります。



PE管への入替工事



保安体制

災害時の対応力強化

実践的な防災訓練、地域との合同防災訓練を通して、対応力を強化するとともに、ガバナ遠隔遮断システムやスマートメーターなどのデジタル技術の導入により、保安レベルの向上を図ります。



合同防災訓練



スマート保安の推進

《2027年度末までに達成する主な指標(KPI)》 ●耐震化率 0.2% / 年の向上 ●PE管率 0.7% / 年の向上 ●自社起因による事故ゼロの達成



CHALLENGE ③ グループ経営基盤の強化

人財の育成

社員一人ひとりが自身の能力を最大限に発揮できる環境を提供するため、教育・研修プログラムの充実を図り、個々のキャリア形成を支援します。また、リーダーシップを発揮できる次世代リーダーの育成にも力を入れ、組織の成長を支える人材の育成に注力します。

DXの推進

システム化やデジタル技術の活用によって、生産性の向上を図ります。
またDX推進により新たな価値の提供に挑戦します。

- ①DXビジョンの策定、DX人材の育成
- ②生成AIなどデジタル技術の活用による業務効率化
- ③お客さまニーズに応じた価値提供

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

さまざまな価値観や多様性を尊重し、社員が働きがいを実感できる職場環境の整備を進めます。個々の能力が発揮できる機会を提供することで、個性を活かした新たな価値創造を目指します。

- ①人事処遇制度の改善
- ②女性活躍の推進
- ③働きやすい環境づくり(組織、人員配置の見直し、コミュニケーション活動など)
- ④雇用の充実(通年採用、障がい者雇用など)

グループ経営の強化

グループ全体のシナジーを最大限に発揮するため、グループ会社間の連携強化や経営資源の最適配分を推進します。また、一体感のある経営体制を構築することで、グループ全体としての競争力を向上させ、持続可能な成長を目指します。



四国ガスグループビジョン2030達成指標

VISION 2030

中期経営計画 2025-2027

経営指標		2027年目標	2030年目標
	売上高 ※1	573億円	600億円
	売上高営業利益率	3.9%	5.0%
	営業利益	22億円	30億円
お客さまとの接点強化	お客さまアカウント数 ※2	46.0万件	50.0万件
	ガス販売量(都市ガス)	3.02億m3	3.00億m3
	LNG販売量	9.3万トン	9.0万トン
	LPG販売量	8.1万トン	8.6万トン
エネルギー事業の深化	保安の高度化 ※3	製造・供給・消費にかかわるガス事故件数ゼロ	
	事業活動に伴うCO2排出量の削減	31%削減 ※4	46%削減 ※4
	四国地域のCO2排出量削減への貢献	50万t-CO2削減 ※5	100万t-CO2削減 ※5
	デジタル技術の活用による業務効率化の推進	多様な人材、個性を活かし、能力を最大限発揮できる 働きがいがある職場環境を実現	
グループ経営基盤の強化	ダイバーシティ経営の推進		

※1 ガス売上は2021年度に適用された平均原料価格にて換算

※2 ガス(都市ガス、LPG)、ガボタでんき、その他サービスにおける契約数等

※3 自社が起因となる詳報報告対象件数

※4 ガス、電気等のエネルギー使用、社用車の走行により排出するCO2排出量、2013年度比(CO2クレジットの活用を含む)

※5 省エネ機器の導入やお客さまの燃料転換等によるCO2排出削減量、2022年度から2030年度までの累計値を自社調べにより算定

「あなたとともに、新しいワクワクを。」



あなたとともに、
新しいワクワクを。

現代社会は、急速なデジタル化と環境意識の高まり、
そしてエネルギーの多様化が進んでいます。

これらの変化により、エネルギー業界はかつてないほどの転換期を迎えています。
カーボンニュートラルに向けた取り組みが求められる中で、
社会的責任を果たしつつ、技術革新を追求することが不可欠です。
こうした時代背景の中で、私たちは、持続可能で安定したエネルギー供給を提供し、
地域社会との共生を大切にしてきました。

これからの道のりは、基盤強化に続く新たな挑戦の時期に突入します。
既存の枠組みにとらわれず、革新的な技術やサービスを取り入れ、
より持続可能な未来を築くために挑戦し続けます。
そして、私たちは「四国ガスグループビジョン2030」を掲げ、
成長と進化を遂げることを決意しています。

私たちの目標は、未来のエネルギー社会を見据えた
持続可能なガスの提供者であり続けること。
すべてのステップが、社会、環境、
そしてお客さまのために重要な意味を持っています。
これからも地域社会との共生を大切にしながら、
新たな価値を創造し、
社会の期待に応えてまいります。

いつもの暮らしを、いちばんに。

 四国ガスグループ